



園 だ よ り

かなづき
10月(神無月)号

令和 7 年 9 月 3 0 日
千代田区立お茶の水幼稚園
園 長 伊 藤 栄 司



<http://www.schoolweb.ne.jp/chiyoda/ochanomizu-k>

楽しい遠足

園長 伊藤 栄司

先日、水遊び納めの会がありました。6月中旬から、小さいプールを使っただの水遊びや、学校の大きなプールを使っただの水遊びが修了しました。子どもたちに感想を聞いてみると、ちゅうりっぷ組さんは「プールサイドに座って足をバタバタさせるのが楽しかった」、ばら組さんは「だるまさんがころんだが楽しかった。」ひまわり組さんは「ビート板を使って浮いたり、泳いだりするのが楽しかった。」「皆で泳いで楽しかった。」と発達段階に応じて水遊びを楽しんでいたようです。

最後に安全に楽しく水遊びができたお礼をプールに伝えて今年度の水遊びを終えました。

遠足の場所選び

遠足は子どもたちがとても楽しみにしている行事です。先日の足立区生物園の遠足では、暑さのため少し早めに帰園しましたが、今回の目的である生き物との触れ合いは十分に達成できました。たくさんの魚や大きなリクガメ、ピラルクなど子どもたちの驚く声が館内に響いていました。また、バタフライガーデンでは飛び回るたくさんのチョウチョにびっくりする様子も見られました。

遠足を計画する場合、何を体験させたいかをよく考え場所を選びます。今回は動物との触れ合いを目的の一つにしていたので足立区生物園に決めました。動物園や水族館は他にもたくさんありますが、バスに乗る時間の長さや混雑具合、広さや展示方法など様々な条件にぴったり合うのが足立区生物園でした。

上野動物園が近くて良いのではとの声もありましたが、かなりの混雑が予想されるのと小さい子どもは見えにくい場所があるという先生方の経験談もあり、早い段階で候補から外れました。また、今回はちゅうりっぷ組さんの初めての遠足ということもあり目的地までの距離や時間等も考慮に入れました。

実地踏査

遠足の場所が決まると実地踏査に出かけます。学校や幼稚園では略して実踏(じつとう)と呼んでいます。実踏は、実施日の3～1か月前に現地へ赴き、遠足に相応しい場所か否かを調べます。例えば、トイレの位置、手洗い場所の有無や高さの確認、AEDの場所や緊急時の避難場所等、園と同じレベルの安全性を確保できるか確認します。昨年まであったトイレが工事中であったり、別の場所に移設されていたりすることが時々あるので、実際に見に行くことがとても大切です。実踏に行き、相応しくないと判断した場合は別の場所に変更することもあります。

場所が決まると、細かい計画をつくり教育委員会に届け出を出したり、保護者向けの手紙を作ったりします。

バスの中での楽しみ

遠足の楽しみの一つにバスでの移動があります。歩いたり、お弁当を食べたり、遊んだりする様子はメールやお手紙等でお伝えしていますが、幼稚園の遠足はバスの中も子どもたちが楽しめる工夫をしています。

今回の担当はちゅうりっぷ組担任の先生でした。バスに乗ると「バスガイド」に変身し、園歌を歌ったり、動物のしっぽクイズをしたり、イントロクイズをしたりと大変盛り上がりしました。大きなバスに乗るのは初めての子どもや車酔いしやすい子ども、匂いが苦手な子ども等、バスに対してネガティブな印象をもたないように楽しい雰囲気を出します。特に、子どもたちに声を出させることで酔わないような工夫をしていました。

例えばしっぽクイズでは○か×で答えます。第一問、「コアラにはしっぽがある」○か×か？という問題です。○だと思う人は「まる」×だと思う人は「ばつ」と大きな声で答えます。答えが分かった人が答えるのではなく、全員がどちらかを大きな声で言うところが大切です。少々にぎやかにはなりますが、全員が声を出すことでバス酔いすることなく目的地に到着することができました。

一方、帰りのバスはみんな疲れているので、心地よい音楽や昔話の朗読CDを聞いたりします。今回は、昔話でした。さるかに合戦や桃太郎等定番の話の話を聞いているうちにすやすやと寝息が聞こえてきます。「今日の遠足はみんな楽しめたかな」と寝顔を見ながら先生方は振り返ります。

足立区生物園はご家族で出かけても楽しめる場所です。子どもたちが案内してくれると思いますので、お時間のある時に是非お出かけください。